

---

# 超能力

烏丸咲月

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

超能力

### 【Nコード】

N23380

### 【作者名】

烏丸咲月

### 【あらすじ】

平凡な女の子の持つ、超能力。超能力の概念について考える？作品。  
超短編で、思いつきで書かれた作品なので、何となく暇な時に読んでください。

超能力。

これを超能力と呼ぶのなら、はた迷惑もいいところだと思う。

超能力と言えば、アニメや漫画、小説の世界で使われる魔法といった、とにかく超人的なすごい力。それを使えば、ひとたび人間がカエルになったり、大男を一撃で倒したり。あるいは遠くの地へ瞬間移動したり。

夢のような力で、欲しがる人も多いんだと思う。

でも私の持つ力は、違う。

私の持つ能力は。

次の日の天気がわかる能力

くだらない。

全くもってくだらない。

だってそうでしょう。天気がわかったところで、何の役に立つのだから。

この能力に気がついた時、お天気おねえさんにもなることも考え

た。でも、私は何故か天気図の勉強をしても全く頭に入らない。他の勉強が出来ないわけじゃないのに、何故か気象予報士の勉強だけは、理解が出来なかった。なぜなら、わかってしまうから。次の日の天気から、気温から、風向きから。すべてが「感覚」でわかってしまうため、理論が見に付かない。

「明日は晴れです。何となく」なんて予報が出来るわけがない。100%当たるとわかっていたとしても、就職できるわけがない。普通の大学に通い、普通の会社に就職した程度の私が。

そして普通の容姿しか持たない私が、お天気おねえさんになれるわけがなかった。

これで美人だの、可愛いだのって特徴があるのならまだしも。

結局私の能力は、日々の生活に生かされる、その程度の能力。

それでも友人たちには重宝するらしく、よくメールで「明日の天気」を聞かれる。

最近、それに答えるのすら面倒になってきているから、そのうちブログで明日の天気でも予報してみようかなんてことも考えている。

そんな私の能力。

これすらも超能力というのならば、この世界に超能力は、どれくらいの数が存在するのだろうか。

必要とされる超能力。

必要とされない超能力。

そしていったい、何のためにこの能力は存在するのか。

なんて漠然としたことも考えてはみるけど、結局私は携帯のメール

で「明日の天気は雨のち曇り、気温は23度」なんて打ち込む日々。同じような境遇の人間が、もっとたくさんいるんだろうか、それとも私のような存在はやっぱりまれなんだろうか。いろいろ考えてはみるけど、不変な日常。

これが私の超能力。

(後書き)

体調が悪いから、暇つぶしに書いた作品。

完全なる思いつきだけど、長編にすれば面白く出来そうな気がする。

ちなみに私の超能力は、【テレビがついていることが分かる能力】です。

皆さんの超能力はなんですか？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2338o/>

---

超能力

2010年10月10日20時09分発行